

北海道大学 課外活動団体HALCC



# 令和3年度活動成果報告会

## 令和3年12月11日

開業  
会員  
券

# 本日の次第

- 1.開会挨拶・インストロダクション
- 2.大学生独自事業
- 3.高大連携事業
- 4.全体総括
- 5.閉会挨拶

## **来賓のご紹介**

**津別町長 佐藤 多一様**

**北海道津別高等学校・校長 高倉 友恵様**

学生団体HALCCとは

## 「学生目線の地方創生」



北海道津別町を舞台に  
フルドワークを行ひ、  
**地域活性化へ繋げ**る



# 学生団体HALCC 概要

団体名	学生団体HALCC (ハルク) Hokkaido Academic Local Creation Conference
代表	和田耕治 (北大公共政策大学院2年)
設立	平成28年
所属人数	20名
後援	北海道大学公共政策大学院 津別町役場、津別高等学校
事業内容	大学生独自事業 高大連携事業



# 学生団体HALCCOの特徴

## 政策提言

自治体の現場で起ころる問題の発見、問題意識を踏まえた行動、複雑化する課題を前に障壁を乗り越えるアイデアを生み出します

## 高大連携

津別高等学校と連携をして、「津別学」の時間内でワークショップ形式の授業を展開しています

## 継続

一過性のものではなく、複数年度にわたり継続して活動を行い、その様子を大学内外へ発信し��けることを大切にしました

## 現地訪問

まちが「真に求めている形での企画立案・実施をするためには、まちづくりに関わる「現場」を見ることが何よりも大切だと考えています



# 学生団体HALCCOの概要



過去5年間で、べ100名以上の学生が参加

# HALCCCの活動概要

## 令和3度の活動内容

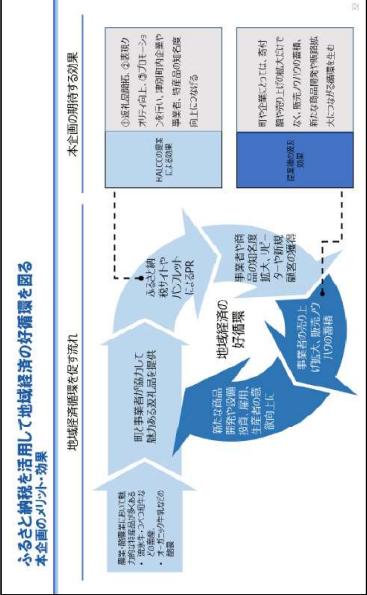
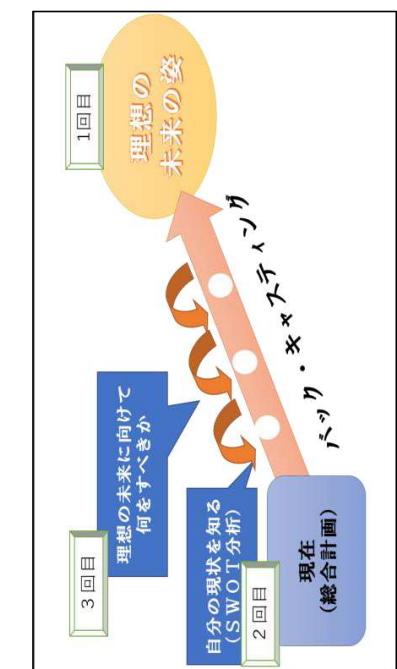
未来に近づく方法をイメージしてみよう

STEP 1 小さな夢を創造しよう

STEP 2 人生におけることわざ

STEP 3 未来の自分像をイメージしてみよう

STEP 4 今自分の分析しよう



## みらいワーク

高校生自身の10・20年後のみらいを考えるワークショップ。オリジナルのワークシートを用いながら大学生とコミュニケーションを取り、将来、「どこで」「どんなこと」をしたいかを考えた。

## 高校生総合計画

津別町の理想の未来・現状・課題・アクションプランを考えるワークショップ。未来像を描きそこへ向かうための方策を考える「バック・キャスティング」思考を用いて、津別町の未来を「自分ごと」として考えた。

## ふるさと納税企画

「津別町のふるさと納税をもつて魅力的にするには」をテーマに、返礼品開発、PR方法、新規納税者・リピーターの獲得戦略の検討と提案を行った。

# HALCCの活動概要

「2021年度企画会議」  
津別町役場・津別高等学校と会議を行い、本年度の企画内容を決定



「高校生総合計画」③  
町の理想の未来の実現に向けた方策を考えるためのワークショップを実施



10/15

「みらいワーク」①  
高校2年生と自分の未来を考えるワークショップをオンラインで実施



「ふるさと納税企画」  
津別町内を見学し、観光資源や特産品を研究



11/2

「みらいワーク」②  
高校1年生と自分の未来を考えるワークショップをオンラインで実施



「ふるさと納税企画中間報告」  
提案内容の中間報告を行い、実現可能な施策は実施に向けた準備



11/3

「高校生総合計画」①  
津別町の理想の未来を考えるワークショップをオンラインで実施



「高校生総合計画」④  
津別町と自分の未来の関連を考える発表資料の作成



11/19

「最終成果報告会」  
津別高校との一年間の高大連携事業及びHALCC独自企画の総括



12/11

本日  
Live配信！

